

2025年1月24日

福島県知事内堀雅雄殿
いわき市長内田広之殿

遠野町の環境を考える友の会会長 佐藤吉行

いわき市遠野町入遠野字天王 73-1 070-2025-4106

鶴石山に計画されている大規模太陽光発電事業・CES いわき太陽光発電所の計画を認めないよう求める陳情書

現在、いわき市の鶴石山の南西側に広がる旧鶴石牧場跡地（いわき市遠野町入遠野）に 100ha を超える大規模な太陽光発電事業が計画されています。この計画地自体は土砂災害危険渓流に指定されていないものの、計画地の周辺も計画地の下流域も土砂災害危険渓流に指定されており、下流の官沢川周辺は土砂災害警戒区域や特別警戒区域にも指定されています。この事業計画が実施されると、大雨の際これまでよりも多くの水が官沢川に流れこみ、土砂災害の危険性がこれまで以上に高まる恐れがあります。また、35年ほど前には台風の際、入遠野に官沢川から大量の水が流れ込み水の流れを堰き止める、いわゆるバックウォーター現象を引き起こし、入遠野川が田子内地区で溢水して一人が亡くなるといういたましい災害が起きています。この事業がこうした災害の危険性も高めるのは間違いありません。

自然エネルギーの活用は温室効果ガスの削減に重要なことは理解できますが、そのために地域の住民を災害の危険にさらすことは許されません。福島市や西郷村でも土砂の流出など多くの問題が起きていますが、鶴石山の計画はその立地条件からしてもはるかに甚大な被害を及ぼす可能性があると言えます。

以下、次のことを求めます。

一、災害の危険性を高める可能性が非常に大きい CES いわき太陽光発電所の計画を認めないこと。事業実施に関わる認可をいっさいしないこと。

二、こうした本来造るべきではない地域に計画が立てられないよう、土砂災害の危険が大きな地域や水源として重要な地域には造ることができないように早急にゾーニングを行うこと。

以上

